

令和 6 年 8 月 2 日

各位

Party of Ocean Green Innovative SOciety

海ごみから革新的な社会を考える会

小木曾 順務

報告

(株)ストリートデザイン(坂本佳次郎社長)が考案した「有機系廃棄物のエネルギー変換システム/いわき市」を考える会の仲間と一緒に視察してきました。「廃プラスチックや有機系廃棄物」をグリーン水素化から油化、またメタノールなどに変換するという実証プラント(2.4t/日処理)です。タール問題処理にも確実に解決した技術です。所謂、今の時代に求められる脱炭素とCO2排出削減に貢献するシステムです。

このシステムが有機系製品(木材、食品、プラなど)を生む上流域の各種産業界(海事業界含む)で設置されれば、また有機系廃棄物(食品残渣、汚泥)を排出する各産業界(下水道含む)で設置されれば、これらの廃棄物が再生エネルギーとなって地域社会で消費され、事業者としてCO2削減事業となり社会貢献できる。

例えば、廃プラが全国回収でき、高付加価値製品(素材価格500円/kg)のプラスチックを生産する上流域の日本化学協会の参加事業所がこのシステムを採用することで自社が生んだ廃プラがe-メタノール化技術で非化石燃料となる。

全国産業資源循環連合会に参加される処理事業者が、各々の地域エリア内で連携しこの「エネルギー変換システム」を採用することができれば、各々の事業者で再生エネルギーが活用でき、維持管理費の削減に寄与する。

よって、視察後の帰路途中、先月面談できた室石泰弘専務理事(全国産業資源循環連合会)に坂本氏に同席願ひ、産業資源循環連合会の参加事業者の情報提供させて頂けないか?とお願いしてきました。

また、P-OGISO会に参加して頂く日本化学繊維協会理事長富吉賢一氏にも日本化学繊維協会の参加事業者の情報提供させて頂けないか?とお願いしていきます。(予定)

一方、経済安全保障を支える重要鉱物(12品目)*1を全国から回収する仕組みがない。

***1 抗菌性物質製剤(厚労) . 肥料(農水) . 永久磁石(経産)、工作機械・産業用ロボット(経産) . 航空機部品(経産) . 半導体(経産) . 蓄電池(経産) . クラウドプログラム(経産) . 天然ガス(経産) . 重要鉱物(経産) . 船舶の部品(国交) . 先端電子部品(追加/経産)の計12品目**

この重要鉱物はリサイクルポートに届けることが最善策である。また化学コンビナートは主に港湾エリアに存在するから、今後「エネルギー変換システム」の整備が進むと考える。

本考える会は、全国の再生技術者(金属・化学・鉱山・産廃処理など)を中部に集め、組織化した研究会を立ち上げ、日本全土に眠る廃プラを含めた重要鉱物(12品目)がどれほどあるのか?これが再生原料化できることを立証したい。立証するためには全国産業資源循環連合会や日本化学繊維協会からの支援が必要である。この支援が得られることを期待し「海ごみから革新的な社会を考える会」を立ち上げ、産官学の実務経験者を集め、可能性を調査してきました。

P-OGISO会参加各位にお願い

全国回収の引き金となるこの「エネルギー変換システム」です。ぜひ、あなたの専門域の産業界で語らして頂けないですか?ご検討のほどよろしく申し上げます。

以上